

第3回 練馬区立高野台保育園運営業務委託事業者選定委員会 会議要点記録

日時：平成21年7月5日（日） 午前9時～午後5時

場所：練馬女性センターえーる

出席者：学識経験者2名、有識者2名、区立保育園園長経験者1名
児童青少年部長、保育課長、事務局

オブザーバー：高野台保育園保護者 1名

1. 応募事業者プレゼンテーション

運営業務委託プロポーザルに応募の5事業者からのプレゼンテーションを、1事業者あたり20分間受け、その後に質疑応答を15分間行った。

なお、高野台保育園の保護者13名の参観があった。

<質疑応答>（5事業者共通の質問のうち保護者からいただいた質問）

質問1 高野台保育園に応募した理由は何か。

- A事業者応答 保育園でいろいろな事件・事故が起こり、子どもたちが犠牲となっていることから、全国に良い保育園を増やしていこうと取り組んでいる。
- B事業者応答 都外で多くの保育園を運営しているが、東京でもぜひ運営したい。練馬区は、民間事業者の応募の受け入れがあり、保育理念も通じるものがある。
- C事業者応答 高野台保育園の保育環境が整っており、充実した保育ができる。保護者が、民間委託に関心が高い。
- D事業者応答 運営する保育園が2か所あると、園児も兄弟みたいに切磋琢磨できる。
- E事業者応答 認可保育園の充実に貢献したい。保育サービス・保育水準に上乗せできる部分あればと考えている。

質問2 保育士が継続して、安定して勤務するための取り組みは何か。

- A事業者応答 労働条件をできるだけ良くする方向で考えている。退職手当共済制度などを活用し、退職金も確保するようにしている。研修についても積極的に参加を促し、費用も全額負担している。
- B事業者応答 職員の採用の段階から、責任感がある人を選定している。例えば、

年度途中の退職をした経験がある人を採用しない。待遇面を考える。外部の臨床心理士が定期的に訪問し職員の状況を見て、悩み等を把握する。専門性を向上させるために、研修を積極的に行う。

- C 事業者応答 多くの人の協力や、保育の楽しみ・子どもが育つ楽しみ・母たちとのコミュニケーションする楽しみによって、生きがいを持てるようにすれば育っていく。保育者の質を高める研修を頻繁に取り組む。
- D 事業者応答 既存の高野台保育園を退職しない人がいれば、そのまま継続して雇用する。
- E 事業者応答 職員は、その施設に所属するのではなく、法人組織にきちんと所属できるように、全職種、正社員で生涯雇用する。それにより、職員は安心して子どもに接することができる。また、バックアップ体制を作り、職員一人ひとりの表情を見る関係づくりをする。

質問3 引継ぎにあたって大切と思うことは何か。

- A 事業者応答 保護者等との情報の共有が大切。いろんな形での情報提供を考える。
- B 事業者応答 園児への影響がないようにすることが大切。
- C 事業者応答 保育内容や子どもの状況を把握。職員の採用としっかりした研修。その中でチームワーク作り。保護者と区との信頼関係づくりが大切。
- D 事業者応答 園児が不安にならないようにすること。なるべく練馬区の指導方針と変更のないようにやっていく。
- E 事業者応答 高野台保育園の特性をまず理解する。さらにプラスアルファする部分があれば光栄。引き継ぐ区の保育士の思いを聞く。

質問4 園長は選考調査する園からくるか。保育士は既存園から何人異動してくるか。

- A 事業者応答 園長は他園から。保育士は、既存園からの異動も考えているが、円滑な引継ぎをすすめるために、どうするかはまだ決めていない。
- B 事業者応答 園長は、都内の保育園からくる。保育士は何人異動するかは確定していないが、数名異動の予定。
- C 事業者応答 園長は既存園から。保育士は8人異動。
- D 事業者応答 園長は既存園で主任保育士経験者。10年近い経験者を5人異動。
- E 事業者応答 園長は公立保育園の園長経験者。保育士として思いを持っている人材を公募する中で、既存園から数名異動もある。

2. 園長予定候補者等ヒアリング

応募の5事業者について、ヒアリングを40分間（園長予定候補者のアピール10分・質疑応答30分）行った。

以上